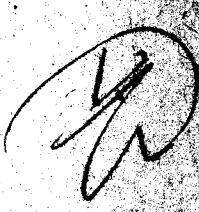


擴充計畫各社案

P
I
II
1
6

石油地质学

- 1. 石油地质学 (知识)
- 2. 傅家谟铁子建设集-17-9
- 3. 日本钢管、油井管设计书



傅家谟

東京市麹町區丸ノ内貳丁目貳拾番地壹
鐵鋼會館二階

鐵鋼統制會

電話丸ノ内

(23)

代表

七
七
七
七
七
七

五
五
五
五
五
五

六
五
四
三
二
一

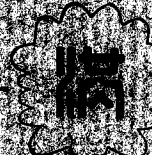
番
番
番
番
番
番

振替口座東京一七五、四四一番
東京中央郵便局私書函第七一七號

五
港
以
鐵
烟
葉

矢
野
文
藏

皇
室
御
用
煙
草
公
司
代
理
人
矢
野
文
藏



「新
京
特
別
市
大
同
大
街
四
〇
六
號

滿洲重工業開發株式會社

3.13-H-1-1



鐵鋼部門建設機構刷新草案原稿

康德八年十一月

滿洲重工業開發株式會社

B 列 5

(7. 12. 2,000册 太田納)



50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

鐵鋼部門建設機構刷新草案

康徳八年十月日 矢野 理事

第一 要旨

第二 本案ノ概要

第三 措置

第四 本案ノ利益並ニ之ガ實施上ノ難點

第五 鐵鋼工務機構改革ノ必然性ト鐵鋼工務部進路

滿洲重工業開發株式會社



第一 要旨

請業：於現在製鉄、製鋼、新建設、昭和製鋼所、本庄四存鉄
 公司及東亞道同義会社、三社に於て夫々別箇に設計並施行ヲナス
 事ニナソシタル。從て夫等各社ノ内ニ建設事業遂行ノ為ニ可成
 廣大ナル建設組織ヲ整備シ、積々之ヲ其ノ社業ハ生産至急ト
 建設トシテ錯綜シ、相宜ニ能ク向上ニ障害ヲ来セン感セラル。

來心康徳八年度ノ第二次五年計画ノ初年度ニ當リテ此ノ旨ニ鑑ミ
 今後新建設工事ハ各社ヲテテ請業ニ一括委託セシメ、請業所
 鋼工務部ニ之ニヨリテ施行計画ノ代行ヲナシ、機器、製作ト諸工
 事ヲ請業所、橋本會社及滿業土木株式會社（仮稱）ニ請
 負ハセテ施行セシメ、以テ各社ノ生産經營ニ全力ヲ傾注スルコトガ
 出来且、擴充計画及工事施行ノ適正化ニ依リ、資本金ノ収蓄善治

滿洲重工業開發株式會社



用ヲ期セ下スルハ本案ノ骨子デアレ

第二 本案ノ概要

一 目的

第二次鉄鋼増産計画ノ建設

但シ場合ニヨリテ第五次五年計画ノ残工事及年度
事業費工事ノ建設ヲ待セ行フ可

二 機構

(一) 鐵鋼統制會ノ指令ヲ受ケル各社ハ其ノ増産計画
ヲ滿業鉄鋼建設委員會(假稱)ノ審議ニカケテ

滿洲重工業開發株式會社



實施方針ヲ決定スル

(二) 審議會ノ決定ニヨリ各社(昭和、本信湖、東田道)ハ鐵鋼工務部ニ其ノ建設ヲ一括委託スル

(三) 鐵鋼工務部ハ各社ノ委託ニヨリ施行計畫ヲ立案シ、機器ノ製作及採掘、電氣工事ハ滿洲電機株式會社(工事部)ニ、土木建築工事ハ滿洲土木會社(仮稱)ニ請負ハス

(四) 滿洲電機株式會社ハ鐵鋼工務部ノ施行計畫ヲ基礎トシテ機器ノ製作並採掘電氣工事ノ施行請負ヲナス
但シ自社能力ニテ應需ニ難キ場合ハ其ノ社ノ責任ニ於テ下請ニ付シ又餘力アリハ假市場ノ機械製作並工事

滿洲重工業開發株式會社



施行ノ請負ヲナスニ妨ゲナク

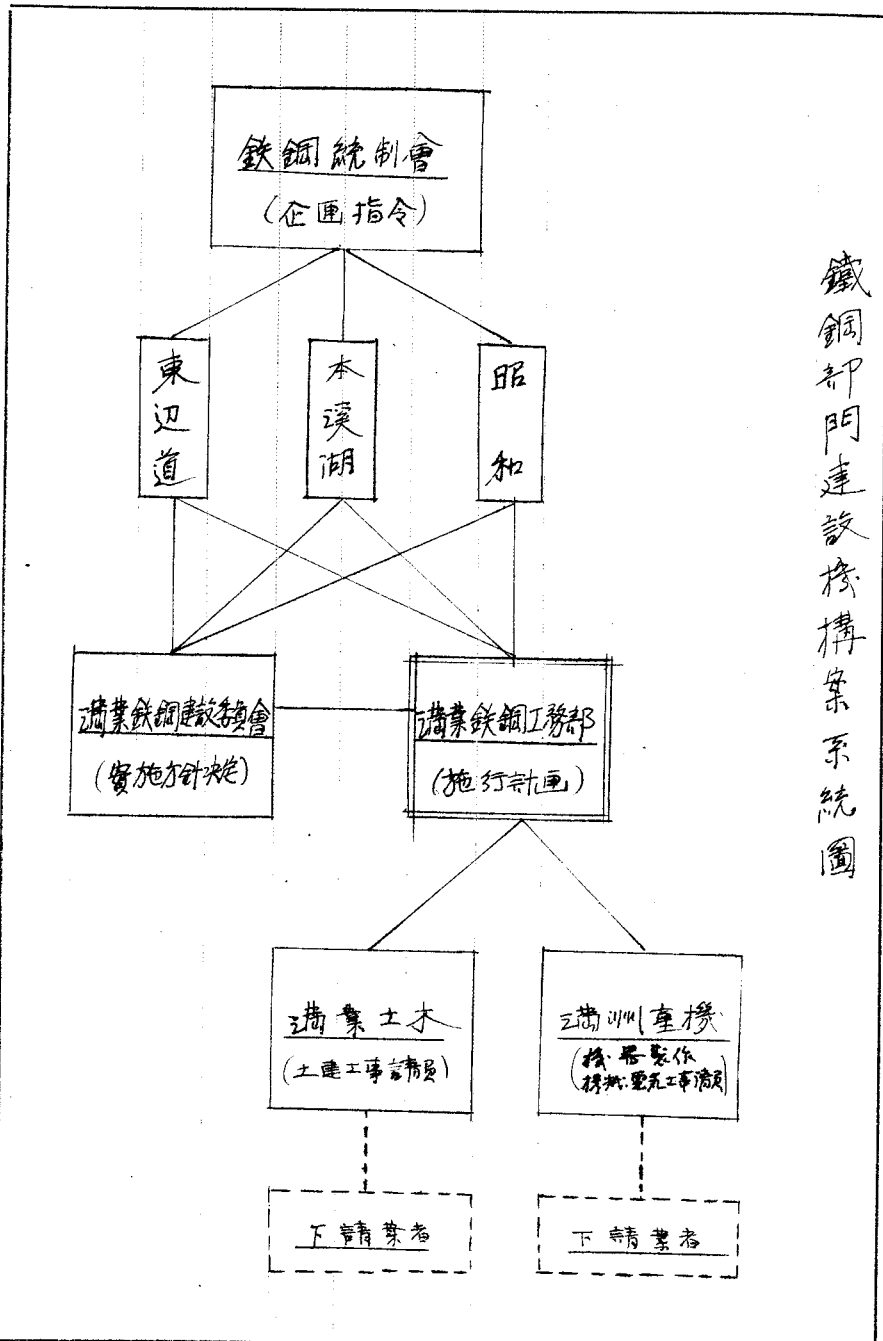
(五) 滿業土木會社、鐵鋼工務部施行計画ヲ基礎トシテ
土木建築工事施行請負ヲナス
但シ自社能力ニテ高需求ニ難キ場合ハ其社ノ責任ニ
於テ下請ニ付シ又餘力ニハ一販企業者ノ土木建築
工事施行ノ請負ヲナスニ妨ゲナク

三、組織

(一) 滿業鐵鋼建設委員會(假稱)

(4) 目的

鐵鋼部門建設構架系統圖



滿洲重工業開發株式會社

鐵鋼統制會より各社へ増産指令内定(例工場空地
擴張) 傾任 銀鉄 銀鋼 方法及型式等) 資金 資材 人 技術
等ト 睨ミ合セテ 検討シ之カ 實現ヲ 期ス 方針 及 手順ヲ 審議
決定ス

(四) 朱女員

滿業副總裁及理事若干名

各鐵鋼會社理事長及理事若干名

滿洲重機社長及取締役若干名

滿業土木社長及取締役若干名

(八) 朱女員長

滿業副總裁



- (三) 常任委員 滿業鐵鋼工務部長
- (本) 會 期 定期並臨時
- (一) 經費 滿業負擔
- (小) 其他

審議會結果統制會指令云々實現不可能ナリ
 如中協合ニ直チ又社ヲ通シ統制會ニ其ノ理由ヲ
 申告セシメ

(二) 滿業鐵鋼工務部

(1) 目的

審議會決定事項、實行計畫、立案箇所トナリ、
 記事項項ヲ指示ス

滿洲重工業開發株式會社



施行計畫
 豫算統制
 工程管理
 材料及材料準備計畫

(四) 編成

現在鐵鋼工務部員外，在記因係箇所吸收不

(1) 昭和製鋼所工務計畫課，大部

(2) 同經理部主計畫會計課，第一需品課，第二需品課

一部

(3) 本場湖及東口道，工務及經理系統，一部

(五) 經費



滿洲重機株式會社並滿業土木會社ノ工事請負額並檢算ノ
製作引受額確定スル時ハソノ金額ニ對シテ若干ノ割掛手數
料(實費主義トス)ヲ徵集シテ經常費ヲ支辨スル
但シ鐵鋼工務部ノ收入支出ハ滿業内ニ於テ獨立會計トスル

三) 滿洲重機株式會社(工事部)

(1) 目的

- (1) 機械、製作販賣並委託購買
 - (2) 機械、電氣工事、設計施行請負
- (現定款一部變更ノ要アリ)

(12) 編成

(12) 編成

(1) 目的

土木建築工事設計施行請負

(14) 滿蒙土木株式會社(飯箱)

- 現在、重機株式會社員外、左記關係箇所より吸収
(1) 昭和製鋼所工務部橋樑課、電氣課、大部及び
第二工務課並電氣工務課一部
(2) 同經理部主計課、會計課、第一備品課、第二備品課
及倉庫課一部
(3) 本辰湖及東迎道工務並經理系統一部

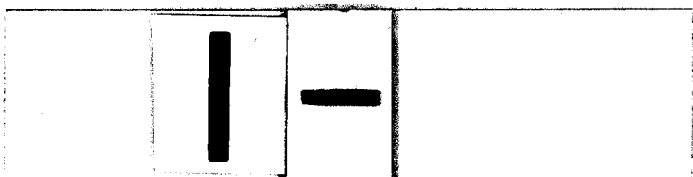
現在、昭和製鋼所工務部土木課、建築課ヲ根幹トシテ
 新會社ヲ設立シ、左記箇所ヲ取扱スル
 (1) 昭和製鋼所工務部線路課ノ一部
 (2) 本溪湖及東遼道ノ土木建築關係ノ一部
 (3) 日産土木ノ一部

資本金、重役、出資区分等、別途之ヲ定ム

第三 措置

一 滿蒙ハ昭和、本溪湖、及東遼道ノ各社ヲシテ、資本的並
 人的連絡ヲヨリ、鐵鋼工務部ニ建設業務ヲ一括シ、該也
 之ルガ如キ措置ヲナスコト

滿洲重工業開發株式會社

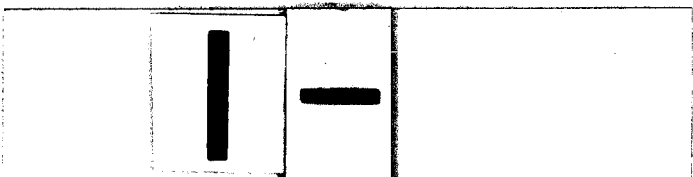


二. 滿蒙ハ本業ノ新格構ニ對應スルガ如ク建設関係社員
ヲソシテ鐵鋼工務部、滿洲鐵橋及滿蒙土木ニ配屬セ
ルコト。

三. 滿洲鐵橋並滿蒙土木ハ從來ノ本溪湖煤鐵公司ニ對シ
大人名高事主大志土木ノ關係ヲ十分ニ考慮シ下請ト
スル場合ニ前二者ニ急激ナル影響及ボサズ豫工又スルコト。

四. 本案ノ實現地ハ第二次鐵鋼増産五年計畫ニ對應スル
ガ如ク康徳九年三月末迄ニ諸般ノ準備ヲ完了スルコト。

滿洲重工業開發株式會社



第四 本案ノ利益並之ガ實施上ノ難点

一 利益

(一) 各社ヲシテ生産經營ニ專念セルニヨリ其ノ能率ヲ増進
シ得ルヲ

(二) 各社ノ互見ニ資材・技術ノ統合・高正化ニヨリ其ノ品質治
用ヲ期行シ得ルヲ

(三) 滿洲重機並滿蒙土木・鐵鋼部明以外ニ各表ニ得ルヲ

(四) 鐵鋼部係用機器具品質改善・現地調達及一元化ヲ徹

滿洲重工業開發株式會社



底的ニ實施ニ得ル下。

(五) 各鉄鋼會社ノ擴充工事開始期ニ於テ之ニ對処スルニ便スル下

(六) 各社技術者ノ養成及交流ニ便スル下

二 實施上ノ難點

(一) 本案ハ專誌ニヨリ代訂ヲ骨子トスルガ、各關係會社カ專誌ニ好ムルハハ爲合ハ實訂ニ得ナク。

(二) 各社ニ業務系統從事員ハ概テ神佐政等工事ヨリ建設工事ヲ好ム傾向カアルガ、此ハ分離ニ相高反對アルハキナト。

滿洲重工業開發株式會社



(三) 本庄湖上関係深々大倉高専大倉土木と満洲重機、満業土
 木上調整の相當困難ナルヲ豫想セラルルヲ
 本案ニ於テ大倉高専ヲ満洲重機ノ下請ニ大倉土木ヲ
 満業土木ノ下請トスルヲ豫想ス

(四) 昭和十三年湖東口道身政嗣ノ次五ヶ年計画ノ建設現場工事
 全般を康陽十年ヨリ開始ノ際定、満洲國策ニ付九年度ニ界
 止計画ニ止リ工事施行高ナシ。従テ其ノ間鉄鋼工務部、
 収入ハナシナリ。

但シ此ノ次計画残工事ヲ引受クニ場合ニ經費支辨リ能トス

第五 鐵鋼工務機構改革の必然性ト鐵鋼工務部ノ進路

一 鐵鋼工務機構改革の必然性

鐵鋼工務部現制ハ「鐵鋼業ノ設備進行計画及調査ニ關スル事項」ト規定セリ又「設備理事會」ニ於テ鐵鋼關係建設事業ニ没頭スル事カ下末ノ便而シテトテ明ニサレタ

然レ現状ニ於テハ各鐵鋼會社ハ各々ノ自力ニヨリテ建設進行計画ヲ樹テ又工場ヲ施行シテハ「滿蒙」ノ機関ヲ利用スル必要ガナク從テ現在鐵鋼工務部ハ寧ニ鐵鋼技術ノ調査研究並ニ鋼整ヲ主トシ各關係會社間ノ「廿」ノ「五」的業務ヲ以テ公クニ區分ナク而シテ本來ノ使命ヲ「建設」ニ專ラシメテ「調査」ニハタテ「傍觀」的立場ニ居ル知テ「強」ト用カナク故ニ鐵鋼工務部ノ



存在ノ價值ハ大ナト謂ヒ得ル
 然レシ滿業ガ鉄鋼工務部ヲ設置シテ莫クモ其ノ及人ナシ投資ヲ
 要スル事下鉄鋼事業ノ施行計畫及工事施行ノ適正化ニヨリテ
 資金・資材・人・技術ノ最善活用ヲ計スルニ急ニ因ニテ
 ナラナイ。其レ然リトスレバ鉄鋼工務部ノ現狀ノ々々、是イテハ
 其ノ理想ガ達スレナイ故ニ際各關係機構ノ連絡ヲ檢討シ
 滿業全取ノ立場カラ最モ合理的利便トスル組織ヲ編成シ
 成イテ鉄鋼工務部ノ職能ヲ充分ニ發揮セシムコトガ重要
 ナラン。従フテノ達成ニハ平下各社ノ職制ノ却テ改善ニ且テ
 建設工事施行適合ニ新機構ヲ考ヘンコトナラナイ。

二、鉄鋼統制會、滿業及關係會社ノ關係

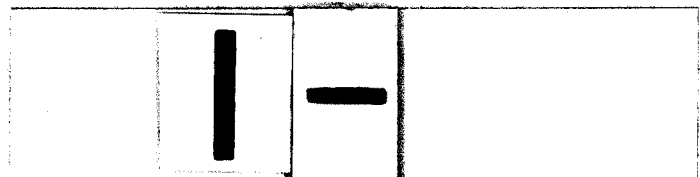


昭和 本屆開辦鐵鋼會社が鐵鋼統制會に單獨加盟したる關係上、商業の統制會に評議員及理事を充てられたるは、其の關係の間接的トナリタリ。從テ統制會の今下關係に對シテ直接命令を指導之形態ヲ取ルカウ鐵鋼工務部の現状檢攝に於テ子會社ノ建設工事ニ對シテ又ハ之ヲ指導スル事ハ出來ナイノアリ。

而シテ鐵鋼統制會の職能ハ企画・經營・技術・調査・研究等ノ鐵鋼ニ關スル百取事項ノ統制指導ヲ含ムル故ニ近ク其の隣接ヲ整備ニ其の目的が完全ニ遂行せん場合煩瑣ニシテ工務檢攝ヲ輕ハシムル要カラン。

三 鐵鋼工務部ノ進路

滿洲重工業開發株式會社



現在各社が鐵鋼工務部ニ依頼カレ、甘口の工業界ニ本業ニ
鐵鋼統制會ノ任務ヲアツテ統制會ニテ採能ヲ發揮スル
場合ハ尙當然統制會ニテ爲スルノ事柄デアリ
然レバ鐵鋼工務部ハ建設工事本業ノ業務ヲ管理セ下
スルニ、斯ル外界ノ實情ヲ前提トシ如何ナル建設ヲトスル
カヲ考ヘテ見ル

(一) 建設會社設立案

各社ノ施行計畫、土木建築、機械、電氣工事ヲ請負フ
建設會社ヲ設立シ、鐵鋼工務部ヲ解消シ此ノ社ニ包含
セシム

(二) 昭和製鋼所一任案

鐵鋼工務部ヲ昭和ニ移合ニ東洋道本區湖ノ建設部門ヲ
廢止シ又ハ社ノ建設ヲ一切掌理スル

昭和の

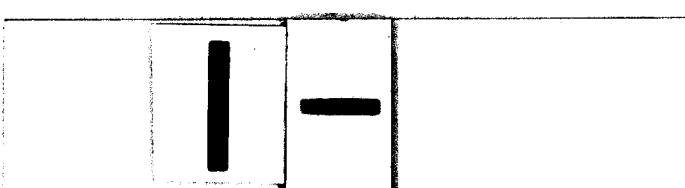
(三) 本案

前函ノ通り

右ノ内(一)案ハ計畫上施行ヲ同一会社が行フ為ニ注文主自體ニ於
テ之ノ監督検査資格同ヲ存置スル必要カアリ且ツ工事費ノ
高騰等ニ付常ニ危機ニ念ヲ抱カシ又滿洲在來請負業者ト
ノ關係モアリ實現困難ナリ

(二)案ハ昭和製鋼所ハ恐ラウシ他社建設引受ノ意思カ

滿洲重工業開發株式會社



ナイ許リテ、他社ニ昭和主義ニ臨ルヲ怖レ、賛成セテ
ト思ハレ

然向(三)本案ニ依ルコトノ最モ實現可能ナリ、又效果的
ト考ヘラレ

以上

滿洲重工業開發株式會社

